

水いざわ

平成29年3月

No. 67号

題字：水沢小学校 6年 池田 彩乃さん



新名神の工事により変わりゆく水沢

.....✿.....✿.....✿.....✿.....✿.....

平成29年1月15日、23日と2回にわたり、大雪に見舞われました。ここまでの雪は21年ぶりと言われていています。当地区においても交通機関の乱れ、学校休校など、各家庭に莫大な被害をもたらし、不安を抱かせました。そのような時、通学路の除雪をボランティアでしてくださる方がいると聞き、地域の助け合いが見受けられ、心の支えになったと聞きました。

当地区は山に囲まれ、大自然の中で育ち、心を癒すことのできる良いところです。茶の生産地であり、半農半商人の町と言われていています。大きな心を身に付け、育て上げる基礎を築き上げていただいた先人に感謝です。

現在、新名神高速道路の工事が行われています。工事関係者の方が子どもたちの登下校時を見守ってくださっています。そこで子どもたちは「毎日、私たちを見守っていただきありがとうございます」と感謝の気持ちを手紙で伝えたと聞いています。子どもたちの心の中に人を敬う感謝の気持ち、思いやりの心が芽生えたことにとてもうれしく思います。

地域住民が思いやりや支えあい、ありがたいの気持ちをいつまでも持ち続け、すばらしい水沢であってほしいです。



水沢地区社会教育福祉推進協議会 会長 伊藤 重久

.....✿.....✿.....✿.....✿.....✿.....



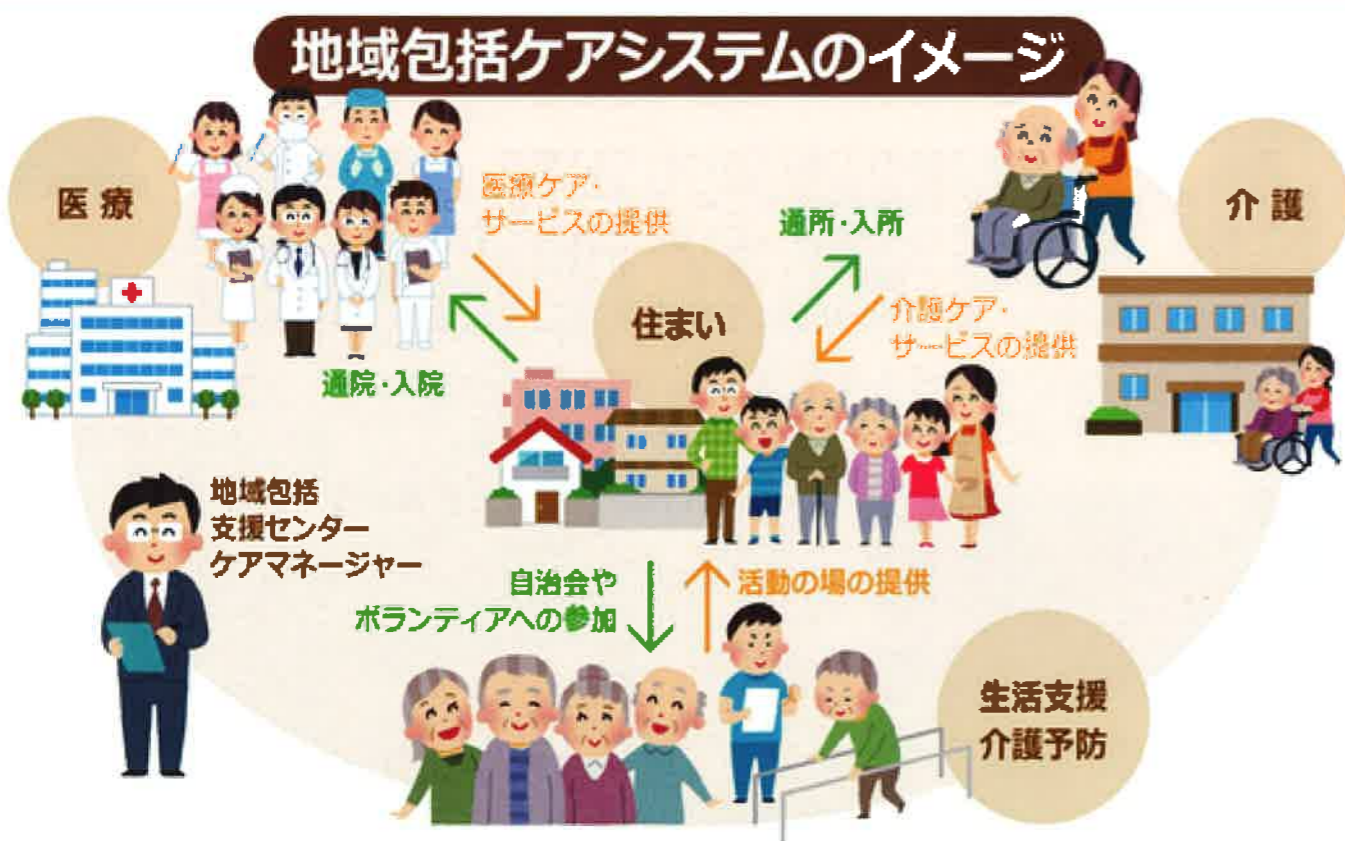
水沢地区の人口 総数.....3212人 男.....1569人 女.....1643人 世帯数.....1154世帯 (29年2月1日現在)

編集・発行 水沢地区社会教育福祉推進協議会文化広報部 平成29年3月

介護特集

水沢地区では今、4人に1人が高齢者という割合になっています。関わっている家族にとって、介護はとても身近な課題です。また将来、やむを得ず独居をすることになった高齢者が生活の中でのちょっとした作業(例えば、ごみを捨てる、電球の取り換え、庭の草取り、庭先の雪かきなど)ができなくなった場合、どのような支援、サービスをしていくのか、といった地域での取り組みが必要になってきます。

そこで、厚生労働省では、地域包括ケアシステムの実現を計画しています。地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が一体的に提供されるケアシステムのことを言います。システムを円滑に機能させる為には、地域と事業所が連携していくことが不可欠になります。



例えば...

介護保険のサービスを受けたい

介護施設に入りたい!

退院後の在宅での生活が不安...

介護保険のことをもっと知りたい

家族に介護が必要な人がいるけどどうしたらいいかわからない...

このようなお悩みがあったら
まずはここへお電話ください

水沢在宅介護サービスセンター

☎329-3553 西條町1990-1



水沢在宅介護サービスセンターでは、種々の介護予防事業の啓発活動を、的確な選択ができるようにアドバイスし、仲介をしています。

- ・医療ソーシャルワーカーとの情報交換。
- ・退院後のケア等、介護保険を利用したサービス提供のアドバイス。
- ・一人暮らし高齢者の見守り。
- ・デイサービスやショートステイなどの利用提案。
- ・年9回「よっかいち・はつらつ健康塾」
- ・年6回「すいざわ学校」の開催

↓ ↓ ↓
水沢病院 三美介護支援センター しあわせ



多目的ホールでのレクリエーション風景

医療法人 安仁会 水沢病院

精神科・神経科・内科・循環器内科

水沢病院は昭和40年2月の開院以来、患者様中心のゆとりある医療を目指し、精神科・神経科・内科を標榜して運営してまいりました。長年にわたり精神疾患をお持ちの患者様が入院の多数を占めていましたが、近年の急速な高齢化をうけ、認知症や内科疾患の悪化などによりご自宅での生活が困難になったご高齢の患者様も積極的に受け入れています。また終末的な病態の患者様にも適宜対応いたします。患者様をご安心して入院・療養生活を送っていただけるよう職員一丸となって日々努力しています。

外来診療は不眠、うつ状態、不安など精神的な症状はもちろんのこと、高血圧・糖尿病・高脂血症などの成人病や腹痛、風邪症状など一般内科の診察・治療もしています。また平成28年1月には循環器内科を追加標榜し、より専門性の高い診療も行える体制を整えました。職場検診などのエックス線撮影や心電図により心臓疾患の疑いを指摘された場合の二次検査や治療も行います。健康診断につきましては特定健康診査に準じた検査項目で成人病のスクリーニングを行います。ご希望により随時検査項目を追加いたします。



超音波診断装置による検査

私たちは今後もより一層透明性を高め、地域の皆様が心身ともに安定した生活を送ることができるようお手伝いさせていただき所存です。水沢病院の詳細につきましては下記ホームページを是非ご覧ください。

連絡先 電話 059-329-3111 Fax 059-329-3114 ホームページ: <http://www.suizawahp.com/>



院内中庭での花

三美介護支援センター

西條町2503-5 329-8051



当事業所は、水沢町西條公会所の隣で「美代の里」として通所介護を開始したのが始まりです。当初は宅老所(今でいう有料老人ホーム)及びデイサービスセンターとして運営しておりましたが、もっと幅広く地域住民の方々にもご利用いただけるように、平成19年11月に「デイサービスセンター水沢」を新たに開設しました。平成23年4月には水沢小学校西側に移転し、三美福祉センターとして、「三美介護支援センター」、「デイサービスセンター三美」、「ショートステイ三美」の三事業を開始致しました。現在、「デイサービスセンター水沢」は、法改正により「デイサービスセンター三美サテライト」として改称し、一元管理のもとで運営しております。

今年8月に開催した「三美夏まつり」もちょうど10周年となりました。毎年、地域住民の皆様にはボランティア等でお力添えをいただき大変感謝しております。

介護保険制度創設後16年を経る中、今後、国では「在宅医療」の推進と「地域包括ケアシステム」の構築がテーマとなっています。その背景には、「2025年問題」があります。いわゆる「団塊の世代」が75歳を迎える2025年(平成37年)前後に医療、介護の需要がピークを迎える事となり、その需要に耐えられるしくみにしていく事が、今後10年間の課題となっております。

四日市市の中でも水沢地区は高齢化率が非常に高く、約33.1%(H28.10.現在)となっており、これらの実情を踏まえて当事業所では四日市市の他地域の中でも高齢社会の先駆けとして質の高い介護サービスを提供していきたいと考えております。当事業所の特徴としては利用者様本人のみならず、御家族様における介護負担軽減も目的としていることから、緊急時のお泊りやデイサービスの延長(夕飯を食べていただく)といった事にも対応しております。また、介護の相談や困りごとなどは水沢在宅介護支援センターと連携し、最善な解決方法や必要なサービス提供が出来るような体制づくりを構築してまいります。

だんだんと暖かくなりつつありますが、まだまだインフルエンザ等で体調を崩す人が多くなります。また、入浴中に脳卒中を発症したりする、いわゆる「ヒートショック」も多くみられます。これは寒い所から温かい所、逆に温かい所から寒い所といった環境下で血圧が上下に変動することによって生じると言われております。皆様には脱衣所と浴場の温度差に気を付けたりするなど急激な温度差にならないように気を付けていただきたいと思います。

最後になりましたが、これからも水沢地域住民の方々により良い生活を送っていただけるよう適切なサービスを提供していきたいと思っております。「三美があって良かった。」と思っただけのような事業所にしていきたく思っております。

何卒、今後ともよろしくお願い申し上げます。





有限会社 **しあわせ**
横堀町 ☎ 329-3930

しあわせな介護 四日市 検索

事業所



ショートステイ しあわせ



デイサービスセンター しあわせ

有料老人ホーム しあわせ

しあわせ居宅介護支援センター

ご高齢になられても、住み慣れた地域で生活が継続できる環境の一端を担いたいと考えています。(具体的には入居できる施設の増設)

介護施設はこの数年でたくさん増えました。施設利用にあたっては、多くの施設を見学され、疑問に思われることを施設の職員に質問し、納得できる回答が得られると安心して利用できると思います。

水沢地区の皆さまに親しんでいただいて、14年目を迎えました。

14年間、大過なく介護サービスを提供できたのは、地区の皆さまと従業員のおかげだと思っています。

まだまだ未熟ではありますが、皆さまからのご意見、ご要望にお応えできるように、研修を積み重ねて、成長するように努めています。



笑顔でお待ちしています



自分の地域で楽しく暮らそう

かつてない「少子高齢社会」を迎える中、高齢者を支えていくために、公的サービスだけでなく、地域社会全体で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。その一環として介護制度が改正され「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」が導入されることになりました。

介護度が軽い要支援1・2の人に対して従来からの介護事業所によるサービスだけでなく、基準を緩和したサービスや**住民主体のサービス**など多様な方法で提供できるようなものです。

住民主体のサービス

水沢地区としてはどうしていくか、今後の課題です。

たとえば・・・

- ・カフェサロンを開いて、集いの場を作る。
- ・電球の取り換え、ゴミ出し、買い物、病院への通院などのお手伝い
- …など

地域交流を図るとともに、「ちょっとボランティア」をしていくのも一つかもしれません。

65歳以上の人1人を
15歳～64歳の人を
1.9人で支えること
になります。

住民主体サービスについて

各地域の地縁団体、NPOなどが、取り組みを行われる場合、四日市市の「介護予防・日常生活支援総合事業」として補助金制度ができます。

(平成29年度4月より)



